

# NHO **NEW WAVE**

独立行政法人  
国立病院機構  
National Hospital Organization

初期研修医・専攻医のためのコミュニケーション情報誌  
NHO ニューウェーブ

発行：独立行政法人 国立病院機構 令和2年 冬号

## vol.42 2020 Winter

### SUPPORT

女性医師サポート

出産・子育て・介護の支援

### REPORT

若手医師フォーラム

### PROGRAM

#1 初期研修プログラムの紹介

関門医療センター 研修部長 吉野 茂文

#2 内科 専門研修プログラムの紹介

横浜医療センター 副院長 宇治原 誠

### RESEARCH

初期研修医アンケート 第二弾



富山病院  
院長

金兼 千春



下志津病院  
院長

重田 みどり

## SPECIAL INTERVIEW

# NHO 女性医師の活躍

NHOで活躍する女性医師のスペシャルインタビュー

富山病院 院長 金兼 千春 / 下志津病院 院長 重田 みどり

## NHO 女性医師の活躍

NHOで活躍する女性医師の  
スペシャルインタビュー

INTERVIEW.

# 01

### 出産、子育て、介護などで 医師としてのキャリアを諦めないために

富山病院 院長 金兼 千春

#### ■ 今までの勤務歴

- 1988.4 金沢大学病院 小児科入局 研修医
- 1989.4 国立金沢病院 小児科 研修医
- 1990.4 金沢大学病院 小児科 医員
- 1991.4 国立療養所富山病院 小児科 医師
- 1993.4 金沢大学病院 小児科 医員
- 1995.4 米国FDA、CBER、Visiting Scientist
- 1997.4 八尾総合病院 小児科 医師
- 1998.4 国立療養所医王病院 小児科 医師  
金沢大学協力研究員(～2018年)
- 1999.4 国立療養所富山病院 小児科 医師
- 2001.4 国立病院機構富山病院 アレルギー科 医長
- 2018.4 国立病院機構富山病院 診療部長
- 2019.10 国立病院機構富山病院 特命副院長(診療部長併任)
- 2020.4 国立病院機構富山病院 院長

#### 重症心身障害者(児)への 在宅支援に尽力

2020年4月から「富山病院」の院長を務めさせていただいています。

当院は、小児慢性疾患医療、慢性呼吸器、結核医療、重症心身障害児(者)の医療・療育が特徴であり、在宅での重症心身障害者の方のための短期入所事業(ショートステイ)を30年以上前から続けるなど、セーフティネットといわれる分野で富山県の医療を長年にわたって支えています。

私自身もアレルギー科を開設して院長を務めながら、重症心身障害者病棟の主治医としても働き、日本の医療課題の一つである重症心身障害者への在宅支援にも尽力してきました。

当院は患者さんとの距離が近い地域に根差した病院であり、患者さん一人ひとりの思いや価値観を大事にした医療を提供しています。常勤医師の多くは、専門外の幅広い診療にも対応していることが特徴であり、小児科では重症心身障害児(者)も診ているため、内科や外科

と協力しながら成人の病気を診療する機会も多く、幅広い診療能力を自然と習得できる環境にあります。

さらに当院は、富山大学附属病院と距離的にも非常に近い関係であり、大学からの派遣医師や非常勤医師も多く、最新の医療知識を吸収できる環境にあることも特徴的です。

私は長年、当院に務めていますが、各科、各部署間の風通しが非常に良く、相談や意見、要望が言いやすいことも魅力であり、院長として現場の声が拾いやすいことは組織運営に大いに役立っています。

#### 両立に大切なのは 優先順位をつけること

私は子育ても、親の介護も経験しましたが、子育て、家庭、仕事の両立を維持することができたのは、今何を一番するべきかを具体的に洗い出し、優先順位をつけたことです。これによって効率化を図ることができ、心に余裕が生まれました。完璧に両立をすることは無理であり、当然、諦めなければならないことや失敗も経験するでしょう。しかし、自分ができる範囲で一生懸命に家庭のことや仕事をしている姿を、子どもたちや仕事仲間はしっかり見ていますし、理解もしてくれるはず。また、子育てとの両立によって得られた優先順位や時間配分のスキルは、その後の仕事に大きく活かすことができるでしょう。

残念なのは、それまで一生懸命勉強をしていたのに、子育てを始めると諦めてしまう人がいることです。確かに子育ては大変ですが、合間にほんの少しでも勉強し、新しい知識を取り入れることをしてください。

子育てが一段落してから復帰しても決して遅くはないですし、ほんの少しでも勉強しておくことでモチベーションを保つことができ、復帰もしやすくなるでしょう。



女性医師は医師と結婚している方が多く、男性医師が仕事で忙しいほど、女性医師の家庭における比率は高まります。最近、男性医師の育休取得者も出てきていますが、男性医師の働き方改革が進むことで、女性医師の活躍の場も広がってくると感じています。

院長として、子育て中の女性医師に対するバックアップ体制はもちろん、女性、男性に関係なく、一人ひとりの医師が働きやすく、その人の強みを伸ばすことのできる環境づくりを目指していきたいと思っています。



#### PROFILE

- 出身地 : 石川県金沢市
- 出身大学 : 金沢大学(1988年卒)
- 宝物 : 二人の娘
- 座右の銘 : 強くなければ生きていけない  
優しくなければ生きていく  
価値はない



「千葉医療センター」の勤務が  
きっかけで病院経営を学ぶ

2020年4月に「千葉医療センター」から「下志津病院」に異動し、7月より院長を務めさせてもらっています。

当院は、専門診療（リウマチ・膠原病、関節外科、神経・筋疾患、小児アレルギー・膠原病、発達障害など）、地域医療（地域包括ケア、小児救急など）、政策医療（重症心身障害、筋ジストロフィー症）という3本の柱があり、急性疾患から回復期、一般診療から専門診療と、幅広い医療を展開していることが特徴です。また、臨床研究、学会発表、教育にも力を入れ、常に医学的水準の向上に努めています。

私が、以前は考えもしなかった院長という大役を拝命することになったのは、医師である夫の転勤により千葉県に引っ越し、「千葉医療センター」に就職したことがきっかけです。



勤務当初は、3年後に開業するつもりでしたが、上司の開業時期と重なったため断念しました。その後、教育研修部長として効果的な初期臨床研修の推進、内科・外科専門研修プログラムの立ち上げ、感染・安全・倫理など全職員向けの研修整備を行い、統括診療部長になっ

てからは、診療部全体の問題解決や、DPC、クリティカルパス、入院支援、地域医療連携などに尽力してきました。

こうして病院全体のことに携わりようになり、病院経営を学ぶため千葉大学の「ちば医経塾」を受講することに。そこでの勉強をベースに「千葉医療センター」の齋藤院長や、「下志津病院」の石毛名誉院長の傍で実地に学ばせていただき、2020年7月より院長に就任しました。

個々のニーズに応え、誰もが  
働きやすい病院を目指す

私は、大学卒業の年に結婚し、2人の子どもを育てながら筑波大学や関連病院で働き、小児科専門医を取得しました。その後、夫の転勤に伴い、フィラデルフィア市、横浜市、つくば市、千葉市と転居しながら、その時々で勤務場所を探して働いてきました。

仕事と子育ての両立で大変だった当時、「働く母親たちが危ない（バーバラ・J・バーグ）」という本を読んで、両立によって何か犠牲になることに罪悪感を抱えるのではなく、新たな価値観を受け入れ、しなやかに生きることが大切であることを教えられました。また、米国から帰国後、やっと決まった就職先の院長から教わった、「一隅を照らす」（自分の置かれた場所で、目の前のことを精一杯やっていく、それがそのまま周りを照らすことになる）という言葉は、その時々の仕事に満足感を覚えられようになり、肩の力が抜けて気持ちに余裕が生まれま

した。女性医師として苦勞もありましたが、現在、とても女性が働きやすい社会になったこと大変感謝しています。

私は、職員のみなさんが働きやすく仕事にやりがいをもってこそ、患者満足度を高めることができ、その上に健全経営があると考えています。出産、子育てのある女性医師のキャリアプランが実現できるよう個別のニーズに応えることはもちろん、全ての職員が働きやすく、やりがいをもてる病院を目指し、尽力していきたいと思っています。

この先、AIに代表されるように技術の進歩は飛躍的に進み、社会も医療も大きく変化していくことでしょう。働き方も多様化し、活躍のチャンスも広がるなかで、若いみなさんには自分の信じる道を精一杯進んで行ってほしいと思います。



PROFILE

- 出身地 : 神奈川県川崎市
- 出身大学 : 筑波大学 (1984年卒)
- 趣味 : ウォーキング、美術鑑賞、料理
- 宝物 : 下志津病院の全職員
- 座右の銘 : 一隅を照らす

■ 今までの勤務歴

- 1984.4 筑波大学および関連病院で研修
- 1990.7 夫留学に伴い家族で渡米  
フィラデルフィア小児病院で研修  
帰国後、横浜市、つくば市などの  
総合病院小児科で勤務
- 2007.4 千葉医療センター 小児科 勤務
- 2010.8 千葉医療センター 小児科 医長
- 2015.4 千葉医療センター 教育研修部長
- 2019.4 千葉医療センター 統括診療部長
- 2020.4 下志津病院 統括診療部長
- 2020.7 下志津病院 院長

INTERVIEW.

02

しなやかに生きる力で  
仕事も子育ても楽しむこと

下志津病院 院長 重田 みどり

## “ 出産・子育て・介護の支援 ”

国立病院機構では、次世代育成支援対策推進法及び女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、職員の仕事と子育ての両立に取り組むために一般事業主行動計画を策定すると共に、育児休業、介護休業など育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律などに基づき、子育て・介護に関する様々な制度を設けています。貴重な人材が損われることなく、仕事と子育て・介護を両立できるように支援しています。

### 出産・子育て・介護の支援制度

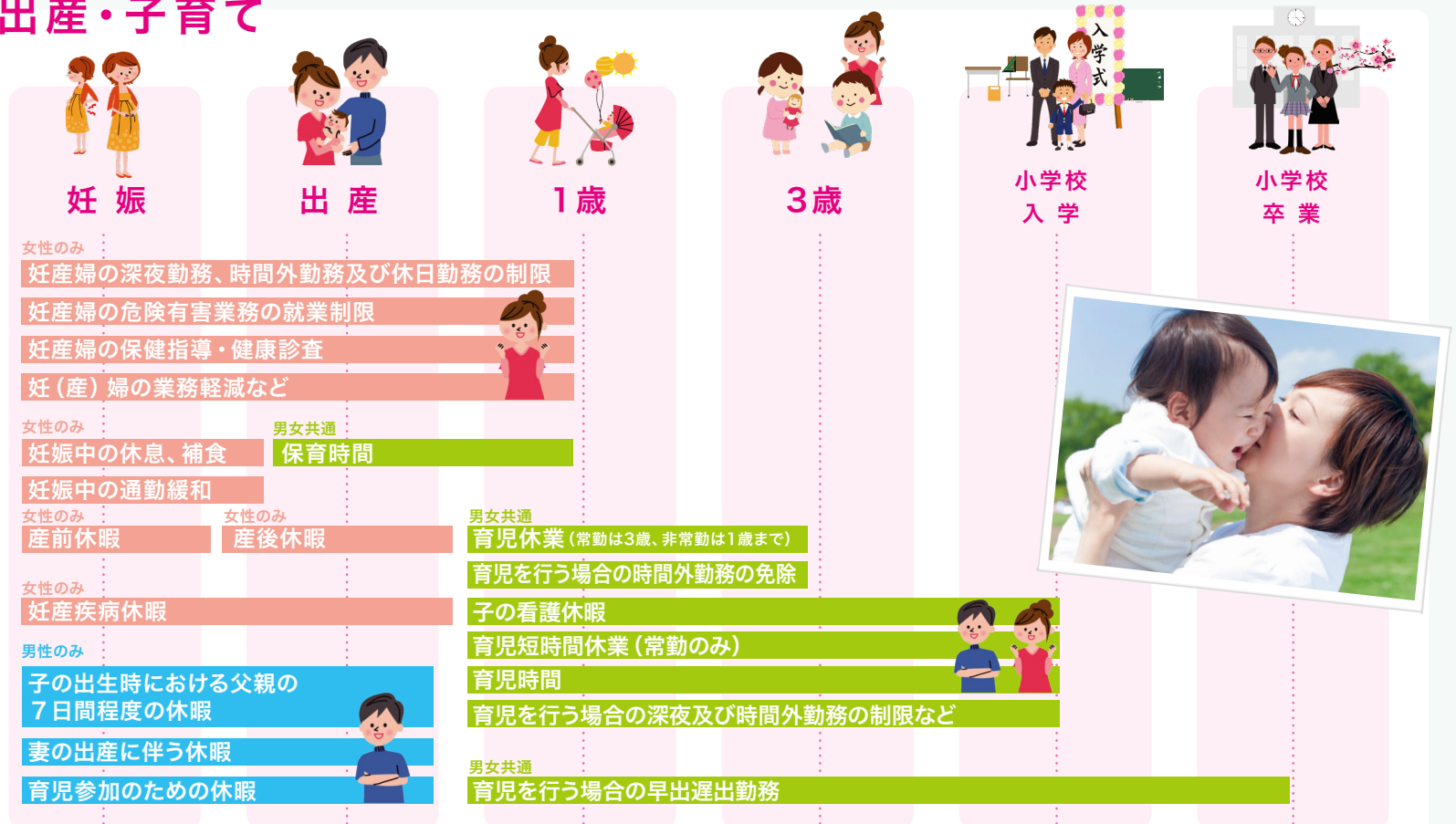
職員が仕事と子育ての両立に悩むことによってキャリア形成が中断されることなく、安心して働き続けられるように様々な制度を設けています。  
また、出産・子育てだけでなく、介護休暇・介護休業・介護時間などの介護のための制度も設けています。

#### 主な制度

- 育児休業(3歳までの子を養育するための休業)
- 育児短時間休業(小学校入学前の子を養育するための短時間勤務)
- 妻が出産する場合の休暇(妻の出産に関する入退院の付添いを行うための休暇)
- 育児参加のための休暇(妻の産前産後休暇期間中の出産に係る子または小学校入学前の子の養育を行うための休暇)



### 出産・子育て



■ NHOホームページ「出産・子育て等に関する制度一覧」  
[https://nho.hosp.go.jp/career/cnt1-0\\_000373.html](https://nho.hosp.go.jp/career/cnt1-0_000373.html)



#### 介護

#### 介護を必要とする家族(要介護者)を介護するとき

- 介護休暇
- 介護休業
- 介護時間
- 家族介護を行う場合の早出遅出勤務
- 家族介護を行う場合の深夜及び時間外勤務の制限 など



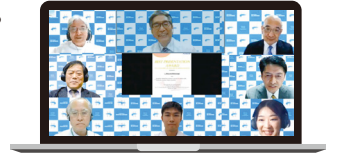
### 院内保育所

多くの病院で、院内保育所を設置しています。病院によっては、延長保育や土日保育、24時間保育、病児保育にも対応しています。

## “ 若手医師フォーラム ”



第74回国立病院総合医学会が、2020年10月17日(土)～11月14日(土)にWEB形式で開催されました。今回のテーマは「先進的イノベーションと支える医療の融合 求められる国立医療の構築～2020ときを越えて～」。多彩な講演やシンポジウムが実施される中、毎年恒例の「若手医師フォーラム」は、プレイベントとして前日の16日にWEB開催で行われました。このフォーラムは若手医師を対象としたもので、各自が取り組んできた症例や研究について発表する貴重な機会です。今回、口演発表で最優秀賞に輝いたお二人の先生に話を伺いました。なお、最優秀賞の先生には副賞として国際学会への参加費用が補助されます。



口演発表「臨床研究部門」最優秀賞 × Dr. Mayumi Matsunaga

### Predictive factors for treatment outcome in children with moderate or severe atopic dermatitis

三重病院 アレルギー科 松永 真由美

#### 応募のきっかけとテーマは？

英語でのプレゼンテーション、かつ他の分野で頑張っている同年代、または自分より若い年代の先生方と切磋琢磨できる貴重な機会だと思い応募することにしました。

今回のテーマは、アトピー性皮膚炎の予後予測です。身近な疾患でありながら、完璧なコントロールは難しく奥が深い疾患です。かゆみ、湿疹が強い中等症以上のアトピー性皮膚炎患者のどのバイオマーカーが予後予測の指標になるのかを検討しました。今回の検討では、初診時の「好酸球

数が高い」＝「炎症が強い」患者が1年後もコントロール不良というわけではない、という一見逆に思える結果が出たことがポイントです。

#### 発表にあたり苦労したことは？

様々な分野の先生方に聞いていただく機会であるため、誰が聞いても理解できる内容を作ることを意識しました。それを限られた時間の中に詰め込むのが難しいと感じました。

#### 英語での発表で感じたことは？

覚えた内容をそのままアウトプ

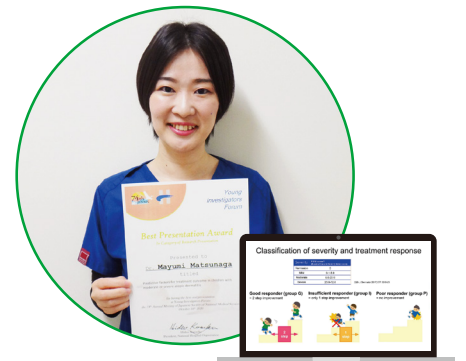
トするだけではポイントがわからず印象に残らないものになってしまうと考え、普段より抑揚をつけて発表するよう意識しました。

#### 発表を振り返って、感想は？

「緊張した」の一言です。初めてのWebでのライブ配信だったため、相手にどのように聞こえているのか気になりました。

#### 医師として大切だと思うことは？

患者さんや保護者の方の表情や声に目や耳を傾けることを意識して



います。小児の場合、患者さんが正確に症状や気持ちを伝えることは難しいので、小さなことでも見落とさないようにしたいと思っています。

#### 今後、参加する方へメッセージを

発表はもちろんですが、その準備も含めてとてもいい経験になると思います。恐れずチャレンジしてみようという気持ちを大切にしていきたいと思います。



口演発表「症例報告部門」最優秀賞 × Dr. Takashi Iimori

### Effective early diagnosis of the concurrence of rheumatic fever and IgA vasculitis

埼玉病院 初期臨床研修医(小児科) 飯森 崇

#### 応募のきっかけとテーマは？

初期研修医になって最初にローテートした小児科で、指導していただいていた先生からフォーラムへの参加を勧めていただいたことがきっかけです。英語での発表ということも大きなチャレンジでした。また、自分の懐を広げるためにも挑戦してみようと考え応募させていただきました。

テーマはIgA血管炎に合併したリウマチ熱の一例の症例報告です。「概要」としましては、2歳2カ月の女児でIgA血管炎として加療中に全身状態の悪さや、移動性関節炎などの

症状からリウマチ熱を疑って早期診断・治療することができた症例であり、これまでに14例が報告されているなかでも、最年少の合併症例でした。ポイントとしてはIgA血管炎とリウマチ熱は関節炎症状などの症状が共通しており、鑑別に注意が必要であるということです。IgA血管炎の症例の場合にはリウマチ熱が合併している可能性も考慮して診断・治療を進めることの有用性を示唆しました。

#### 発表にあたり苦労したことは？

6分という発表時間内にかに伝

えたいことをまとめきるかということでした。小児科の先生方を中心に何度も予演会を行い、指摘を受けて修正を繰り返しました。

#### 他の発表者から学んだことは？

それぞれの分野に対して全く前提知識のない自分が聞いても、その分野での背景や今回の報告の目的、結論などを理解できるような発表になっていると感じました。内容に関してもそれぞれの分野の最新の知識をアップデートできるよう今後意識していこうと思いました。



#### 将来の夢や今後の予定は？

海外で医師として従事する時期を作ればよいなど。今回のような経験を今後も重ねていって、その準備をできればと考えています。

#### 今後、参加する方へメッセージを

英語での発表は慣れない機会だと思いますが、しっかり準備して本番に望むことは大きな経験になると思います。ぜひ挑戦してください！

# PROGRAM

## #1 初期研修プログラムの紹介

国立病院機構 関門医療センター

### 救急と総合診療で多彩な症例を経験 万全のフォロー体制で医師の基礎を

関門医療センター 研修部長 吉野 茂文

#### 関門医療センターの 初期臨床研修について——

「関門医療センター」は、34診療科、救命救急（3次救命）センターを擁する地域の中核病院です。

救急医療と総合診療を行う場所が一つの部屋のなかにあり、救急搬送とウォークインの患者さんを機能的に分け隔てなく診療できることが特徴です。両患者ともに研修医の先生方がファーストタッチを行い、検査プランを立て、オーダー、診断するという一連の過程を経験することができます。もちろん、救急と総合診療の指導医が常にバックアップとして控えているため、安心して医療に臨むことができますし、当院にはメンター制度があり、気軽に何でも相談できるメンターを全医師の中

から指名できることが特徴です。こうした万全のフォロー体制による働きやすさも魅力であり、これまでにドロップアウトした研修医の先生は一人もいません。

また、研修医の先生方はいろんな大学から集まっており、仲も非常に良く、研修医の同窓会『ドルフィンクラブ』では毎年多くの修了医師が集まるほど団結力が強いことも特徴です。

#### プログラムの特徴について——

初期研修プログラムは、自由度が高いテラーメイド式によって一人ひとりに満足度の高い研修を実現しています。各科ローテーションをしながら総合外来、救急当直に随時参加することで、プライマリ・ケアから専門的な医療まで幅広く経験

することができます。多くの研修協力施設（沖縄、香川など、計3カ月）や、海外研修（ジュネーブWHO事務局などで2カ月）があることも特徴です。全ての医師像に対応できる研修プログラムであり、特に救急医療と総合診療に興味のある方にお勧めです。

さらに、外科志望の方には、胆石症や鼠経ヘルニア手術の執刀を経験することができるなど、早くから手技の習得も可能です。

#### 生活面、周辺環境について——

関門海峡を望むオーシャンビューや城下町長府の歴史地区に囲まれた風光明媚な環境。周防灘、玄界灘、豊後水道から集まる美味しい魚。スーパーや飲食店も近く、魚市場の唐戸市場までは車で10分。病院から徒歩30秒という近さにある研修医宿舎。高速インターも近く、交通の利便性にも優れているなど、快適な生活環境も大きな魅力です。

#### 読者へのメッセージ——

「経験に勝る知識なし」と言われるように、研修医の先生方には積極的にさまざまな症例、手技を経験していただき、スキルをどんどん高めてほしいと思います。

研修も生活環境も恵まれた当院で、多くの仲間と共に研鑽を積んでみませんか。院内の雰囲気、働きやすさも含め、当院での研修はみなさんを満足させること、間違いありません。



#### PROFILE

出身地 : 山口県防府市  
出身大学 : 山口大学 (1986年卒)  
山口大学大学院  
医学系研究科 (1991年修了)  
宝物 : 日本全国と世界各地の旅の思い出、これまでに習得してきた医学的知識と技術  
座右の銘 : 一期一会、飛耳長目



#### 国立病院機構 関門医療センター

所在地 〒752-8510  
山口県下関市長府外浦町1-1  
WEB <https://kanmon.hosp.go.jp>

病床数 **400**床 診療科数 **34**科

#### 関門医療センターの特徴

関門医療センターは、地上7階建ての免震構造で、大型ヘリポートも付設して災害拠点病院としても万全の体制を整えております。関門海峡を行き交う大型の船舶、朝日を浴びて波間に揺蕩う小舟、病室から見える景色は、あたたか印象派の絵のように職員の心を癒してくれます。



#### VOICE × 初期研修医

### 幅広い診療能力を獲得。個々に最適な研修ができるのも魅力です

初期研修医 2年目 金城 尚樹

当院は3次までの救急科と総合診療科を有しており、毎日、多くの外来患者さんが訪れる環境のなか、ファーストタッチによる初期対応から病棟での治療まで、豊富で多彩な疾患を学ぶことができます。

経験しようと思えばいくらでもできますし、逆に一つの症例にじっくり取り組むこともでき、一人ひとりの目標や性格に合った研修が可能です。また、研修医がテーマを決めた症例発表会や、指導医の先生、コメディカルの方を招いてレクチャーをしていただくなど、研修医主導の勉強会も豊富にあり、みんなモチベーション高く学んでいます。

院内の雰囲気も抜群に良く、先生方もコメディカルの方々も指導熱心で気軽に相談しやすく、病院全体で研修医を育て、サポートする環境も大きな魅力です。同期（13人、うち女性が7人）の出身大学、出身地もさまざまですが、みんな仲が良く、切磋琢磨しながら楽しい研修医生活を送っています。



#### PROFILE

出身地 : 山口県周南市  
出身大学 : 山口大学 (2019年卒)  
宝物 : 当たり前の日常  
座右の銘 : 失敗は成功のもと

# #2 内科 専門研修プログラムの紹介

国立病院機構 横浜医療センター



## 内科領域全般の診療能力を 獲得するに最適な病院です

横浜医療センター 副院長  
内科専門医研修プログラム統括責任者 **宇治原 誠**

### 横浜医療センターの内科専門研修 プログラムについて——

「横浜医療センター」の内科専門研修プログラムの研修期間は基幹施設(当院)2年間+連携・特別連携施設1年間の3年間となります。

当院は、32の診療科を擁する神奈川県横浜市西部医療圏の中心的な急性期病院として、地域の病診・病病連携の中核である一方、地域に根ざした病院であることも特徴です。common diseaseの豊富な経験はもちろん、複数の疾患をもった高齢患者さんも多いため、専門外

の診療分野に携わる機会も豊富にあり、さらに、地域の各病院、診療所、在宅訪問診療施設との地域医療連携も経験することができます。

当院のこうした特徴は、臓器別の内科系サブスペシャリティ分野の専門医にも共通して求められる、内科領域全般の診療能力を獲得するに最適な診療環境であると言えるでしょう。

### 横浜医療センターの 研修環境について——

当院では内科領域全般の診療を

経験できることが特徴ですが、専門外であっても安心して診療に臨むことができるよう、急変があれば救急科がバックアップするなど他科からのサポートも充実しています。各診療科、気軽に相談やコンサルができ、研究会や勉強会にも自由に参加することができます。

また、医療安全対策やクレーム対応を決して現場任せにすることなく、しっかり病院で対応するため、余分なストレスなく、安心して積極的に経験を積むことができる環境も当院の大きな魅力です。

### 内科医を目指したい読者へ——

内科医は患者さんと直接向き合う医師です。高い技術をもっていても、誠実で丁寧な説明によって患者さんに納得してもらわなければ、治療は上手くいきません。知識や技術をアップデートするために絶えず学び続けることはもちろん、誠実さと、コミュニケーション能力も磨いていただき、患者さんから頼りにされ、一人ひとりに最適な医療が提供できる内科医になってほしいと思います。

当院での内科専門研修プログラムでしたら、そうした内科医へと成長することができるはずですよ。



### PROFILE

出身地 : 熊本県熊本市  
出身大学 : 東京医科歯科大学  
(1984年卒)  
座右の銘 : 他人の言うことに耳を傾ける。  
改善したいものは計測する。



### 国立病院機構 横浜医療センター

所在地 〒245-8575  
神奈川県横浜市戸塚区原宿3-60-2  
WEB <https://yokohama.hosp.go.jp>

病床数 **510** 床 診療科数 **32** 科

### 横浜医療センターの特徴

32診療科を有し、高度総合医療機能を持つ災害医療拠点病院であり、エイズ拠点病院や移植臓器提供施設でもあるためバランスのとれた卒業臨床研修が実施できる病院です。

## VOICE × 専攻医

### 臨床だけではなく、 講演・論文作成も数多く経験

膠原病・リウマチ内科 **東谷 佳奈**

患者数が多く、診断、治療と幅広く経験を積むことができます。自分の意見や考えが治療方針に反映されるなど、勉強したことを患者さんに還元でき、感謝となって直接返ってくるのでやりがいもあります。研究・国際学会での講演・論文作成に数多くチャレンジできることも特徴です。



### PROFILE

出身地 千葉県市川市  
出身大学 横浜市立大学(2017年卒)  
宝物 携帯フォルダの写真  
座右の銘 人生いろいろ

### 専門性を高めながら、 幅広い診療能力を習得

呼吸器内科 **廣瀬 知文**

研修の早い段階から、病棟業務、気管支鏡検査、初診外来などを経験させてもらっています。当院には多彩な診療科と総合内科外来があり、各診療科の横の繋がりが密でコンサルもしやすく、専門性を高めながら幅広い診療能力を習得できます。先生方の出身大学はさまざま、学閥も一切ない働きやすさも魅力です。



### PROFILE

出身地 神奈川県横浜市  
出身大学 北里大学(2017年卒)  
宝物 特になし  
座右の銘 一期一会

### 患者背景にある、社会的問題を 解決できる力も獲得

腎臓内科 **森田 隆太郎**

目指す腎臓内科医にとって多彩な疾患の経験も必要だと思い、多くの診療科の揃った地域の中核病院である当院を選びました。各科の風通しが良く、みな教育熱心で、誰でも気軽に相談しやすい環境です。患者さんは社会的問題を抱えている方も多く、臨床スキルだけではなく、幅広い問題を解決できる力も獲得できます。

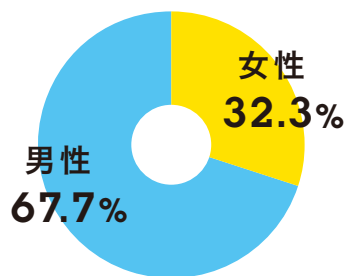


### PROFILE

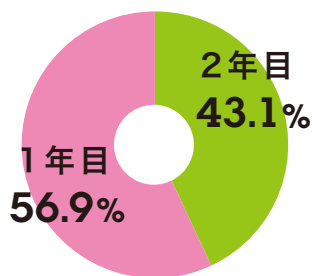
出身地 福岡県田川市  
出身大学 長崎大学(2017年卒)  
宝物 空手大会で優勝したメダルや盾  
座右の銘 人事を尽くして天命を待つ

国立病院機構の臨床研修病院で働く初期研修医 **167**人に聞きました

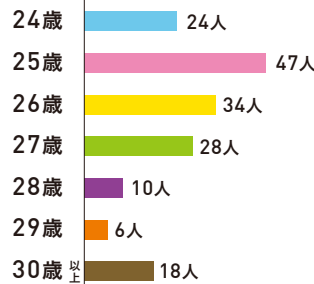
### Q あなたの性別は？



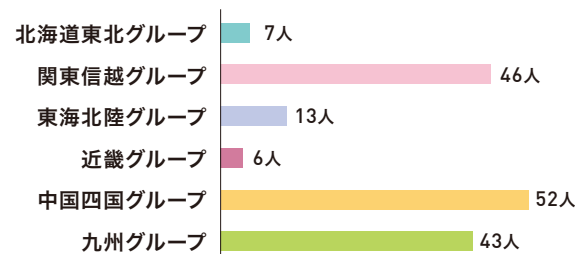
### Q 研修年次は？



### Q 年齢は？



### Q 勤務している病院のグループは？



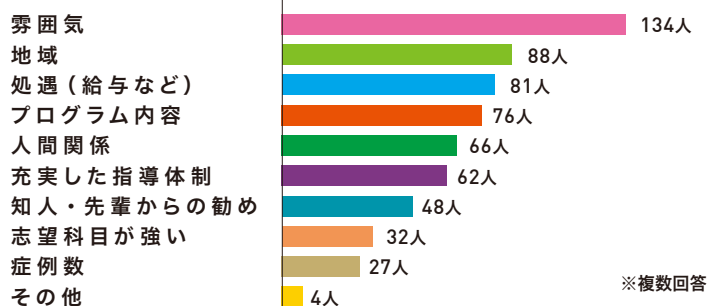
### Q あなたの出身地は？

北海道 3人	東京都 16人	三重県 1人	岡山県 4人	長崎県 15人
青森県 1人	神奈川県 5人	滋賀県 1人	広島県 20人	大分県 2人
宮城県 2人	山梨県 3人	京都府 4人	山口県 8人	宮崎県 1人
秋田県 1人	長野県 1人	大阪府 8人	徳島県 1人	鹿児島県 3人
茨城県 13人	富山県 1人	兵庫県 5人	愛媛県 1人	その他 2人
群馬県 1人	石川県 1人	奈良県 1人	高知県 1人	
埼玉県 3人	静岡県 2人	和歌山県 1人	福岡県 21人	
千葉県 2人	愛知県 6人	島根県 1人	佐賀県 5人	

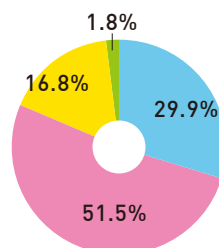
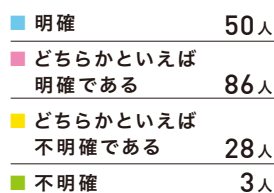
### Q あなたの出身医学部の所在地は？

北海道 4人	千葉県 3人	岐阜県 1人	兵庫県 4人	香川県 2人
岩手県 1人	東京都 13人	静岡県 1人	奈良県 1人	愛媛県 3人
宮城県 1人	神奈川県 3人	愛知県 5人	鳥取県 2人	高知県 4人
秋田県 5人	山梨県 3人	福井県 2人	島根県 4人	福岡県 18人
山形県 1人	新潟県 1人	三重県 2人	岡山県 12人	佐賀県 13人
福島県 3人	長野県 1人	滋賀県 1人	広島県 8人	長崎県 15人
茨城県 2人	富山県 1人	京都府 3人	山口県 6人	大分県 1人
栃木県 4人	石川県 3人	大阪府 2人	徳島県 1人	宮崎県 1人
				鹿児島県 5人
				その他 1人

### Q 臨床研修病院を選んだポイントは？



### Q 研修とプライベートのオンオフは明確？

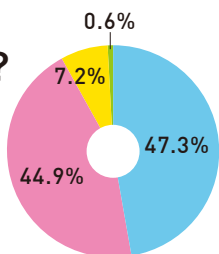


### Q プライベート・休日の過ごし方は？

- 1位 家で過ごす
  - 2位 体を動かす(ジョギングなど)
  - 3位 ショッピング
  - 4位 飲み会などの交流
  - 5位 趣味の時間
  - 6位 食べ歩き
  - 7位 散歩
- その他  
お茶、家業、研究、院外のプロジェクト など
- ※5位の趣味の時間には、ドライブ、旅行、釣り、カメラ、映画、読書、アニメ、テニス、音楽、ピアノ、楽器演奏、イラスト、ゲーム、釣り、カラオケ、料理 など

### Q 現在の研修内容・プログラムなど 研修状況に満足？ 不満？

満足している	79人
どちらかといえば満足している	75人
どちらかといえば不満である	12人
不満	1人



#### ■ 研修状況に満足の理由

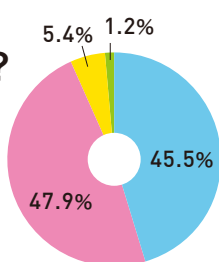
- 1位 雰囲気、人間関係がよい
- 2位 自分のペースで取組んでいる
- 3位 手技がきちんと学べている
- 4位 指導が充実している
- 5位 待遇（給料など）がよい
- 6位 プログラムの自由度が高い
- 7位 ワークライフバランスが充実
- 8位 診療科間の垣根がない
- 9位 バリバリ働けている
- 10位 症例数が多い・勉強会が豊富である

#### ■ 不満の理由

指導が不充実  
希望の手技が学べない  
思うように働けない  
勉強会が少ない  
プログラムの自由度が低い  
待遇（給料など）がよくない  
症例数が少ない  
ワークライフバランスがよくない  
雰囲気、人間関係がよくない

### Q 現在勤務している臨床研修病院の 研修環境に満足？ 不満？

満足している	76人
どちらかといえば満足している	80人
どちらかといえば不満である	9人
不満	2人



#### ■ 研修環境に満足の理由

- 1位 研修医室が充実している
- 2位 宿舎と病院が近く便利
- 3位 周辺環境が良い
- 4位 専用のデスクとPCがある
- 5位 最先端医療が充実・院内がきれい

#### ■ 不満の理由

研修医室がない  
設備が不十分  
周辺環境が悪い  
宿舎と病院が遠く不便  
専用のデスクとPCがない  
最先端医療が不十分

### Q 研修で悩んだときの 相談相手は？

- 1位 同期（院内）
- 2位 友人・恋人 親・家族
- 3位 若手先輩医師（院内）
- 4位 医学部時代の友人・先輩
- 5位 指導医



BACK NUMBER × バックナンバー  
過去の「NHO NEW WAVE」が  
WEBサイトから閲覧できます！

[https://nho.hosp.go.jp/education/education\\_nho.html](https://nho.hosp.go.jp/education/education_nho.html)

NHO ニューウェーブ 検索



次号 予告 NHO NEW WAVE vol.43 は 2021年3月下旬発行予定です。

SPECIAL 災害とNHO  
東日本大震災から10年、熊本大地震から5年  
HOSPITAL 病院クローズアップ：新潟病院  
PROGRAM 初期・専門研修プログラム紹介